

小石原川ダム建設事業の経済効果について

はじめに

小石原川ダム建設事業では、平成28年度より小石原川ダム本体工事に着手するとともに、佐田川木和田地区から小石原川ダム江川貯水池へ導水する導水施設工事、ダム建設により付け替える多くの道路工事や機械・電気設備工事、各種の調査設計業務など一刻も早いダム完成に向けて多くの工事・業務を実施しております。

これらの工事や業務の実施には、受注者として、または協力業者（下請）や資機材調達会社として多くの地元の会社や企業が参画しており、雇用の増加も含め、本事業は地元の経済活動に対して一定の効果をもたらしているものと考えられます。

今回、平成28年度の事業執行額を事例として、地元地域に対してどの程度の経済効果があったのかを定量的に把握するため、受注者へのアンケート調査を行い具体的な事業費の流れを把握するとともに地元地域に対する経済効果について分析を行いました。

その結果について、以下のとおり公表するものです。

（分析に使用したツール）

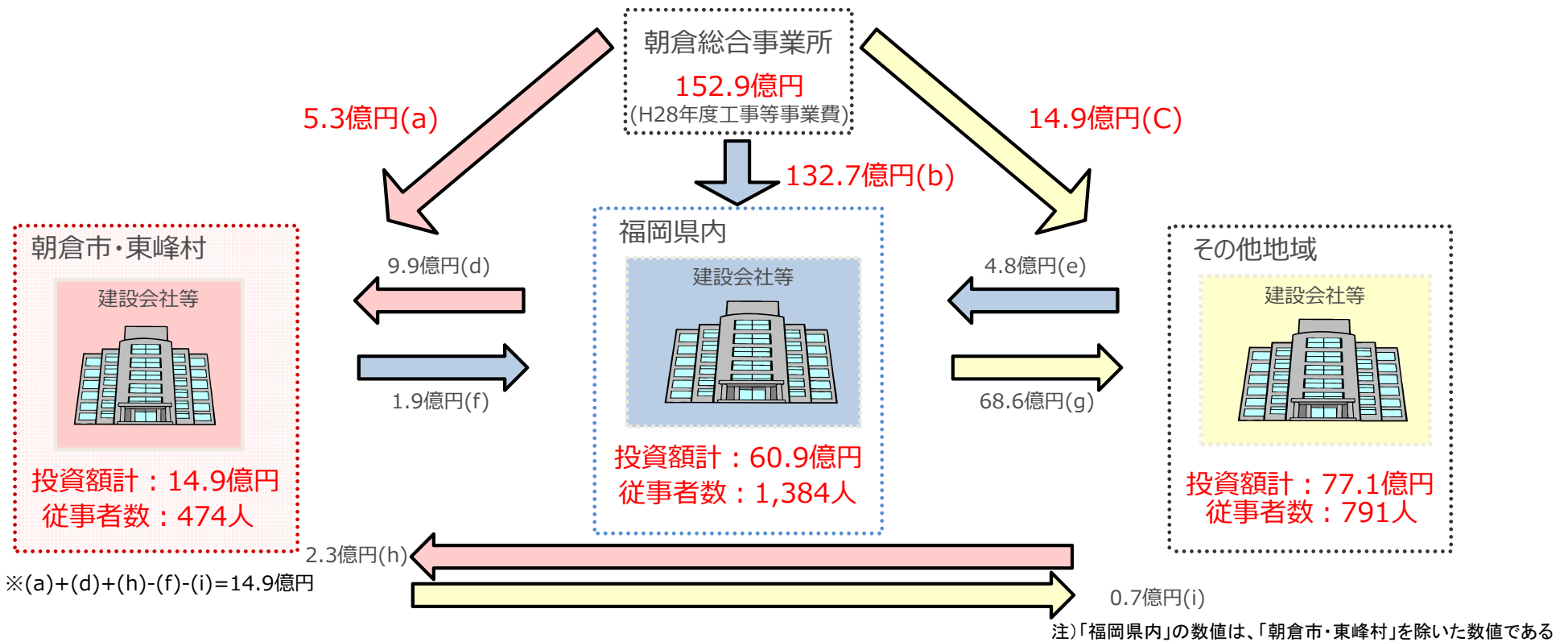
- 1) 福岡県経済波及効果分析ツール／福岡県
- 2) 福岡県・県内市町村経済波及効果分析ツール／公益社団法人福岡県自治体問題研究所

小石原川ダム建設事業の朝倉市・東峰村及び県内への経済効果について

小石原川ダム建設事業の経済効果について

平成28年度の小石原川ダム建設事業における事業支出（工事・業務の実施、車両のリース代、ガソリン代、事務所にて雇用した人の人件費など）のうち152.9億円（実際の事業支出額のおよそ87%）をもとに調査・分析を行いました。
 その結果、朝倉市・東峰村の建設業に関連する会社・企業に対しておよそ20.3億円の経済効果（売上げ増加額に相当）が見込まれることがわかりました。なお、この効果額は、朝倉市・東峰村における建設業の総生産額のおよそ13%に相当します。
 また、雇用者数（事業実施による雇用の創出）については561人と結果となり、これは朝倉市・東峰村の建設業従事者数のおよそ34%に相当する結果となりました。

直接効果について<朝倉総合事業所からの事業費の流れ、従事者数>（アンケート調査結果より）



経済効果について<直接波及効果+間接波及効果>

※総生産：経済活動別市町村内市町村内総生産（朝倉市・東峰村）158.7億円(H26) <出典：福岡県HP>
 ※従業者数：建設業従業者数 経済センサス 1,638人(H26)

朝倉市・東峰村

①建設業への効果額
約20.3億円/年度
(※総生産の約13%に相当)

②雇用の創出 561人/年度
(※従業者数の約34%に相当)

福岡県内

注)「福岡県内」の数値は、「朝倉市・東峰村」を除いた数値である

①建設業への効果額
約98.7億円/年度

②雇用の創出
2,462人/年度

小石原川ダム建設事業に伴う個人消費増加額の推算と従事者の消費動向

小石原川ダム建設事業による個人消費に伴う経済効果とその動向について

①個人消費増加額の推算

小石原川ダム建設事業の事業支出の一部は、事業に関連して働く人々の所得となり、さらにその一部が生活費として消費されます。この消費は食料品や日用品、交通費や娯楽費など多岐にわたりますが、これら従事者の消費に伴う金額を個人消費に伴う経済効果（事業支出による個人消費の増加額）として分析を行いました。

この結果、朝倉市・東峰村における消費増加額はおよそ3.4億円、朝倉市・東峰村を除く福岡県内ではおよそ13.1億円に相当することがわかりました。

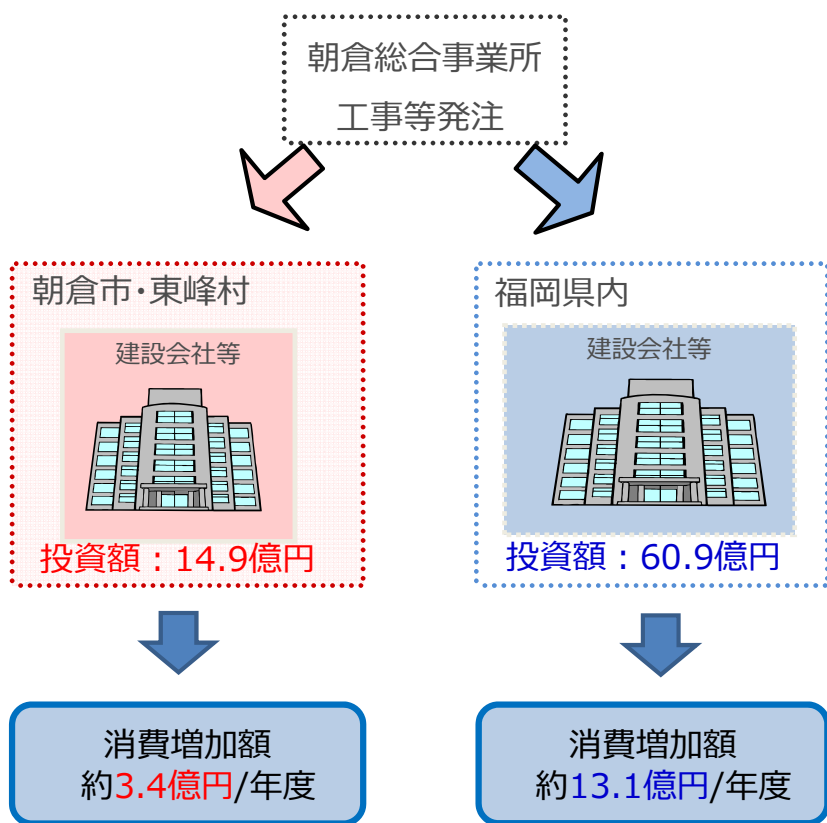
②消費品目とその地域について（小石原川ダム建設事業の一部（ダム本体工事のみ）に従事していた59名の結果）

ダム本体建設工事（受注者：鹿島・竹中土木・三井住友JV）に従事している方々59名の協力により、平成28年6月の1か月間の個人支出額と消費品目、支払った地域について実態調査を行いました。

その結果、工事現場のある朝倉市・東峰村での支出が平均53%を占めており、「食品」の購入が最も多いことがわかりました。

また、1人当たりの平均支出額はおよそ13.7万円でした。個人差（居住地、家族構成、所得等）がありますので正確な数字ではありませんが、ダム本体建設工事の従事者が平成28年6月の1か月間に朝倉市・東峰村において消費した額はおよそ5,400万円（=749名×13.7万円×53%）に相当するものと推算されます。

①消費増加額の推算（平成28年度）



注1) 計算に用いた消費転換率は北九州・福岡市家計年報調査結果による
注2) 「福岡県内」の数値は、「朝倉市・東峰村」を除いた数値である

②消費品目とその地域について（アンケート調査結果）

【調査対象期間】：平成29年6月1日～30日

【有効回答数】：59名（単身者48名+妻帯者11名）

（参考）ダム本体建設工事における平成29年6月の全従事者数：749名

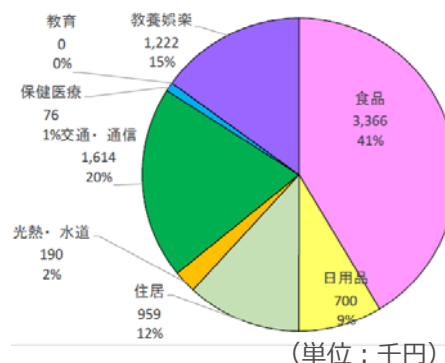
【調査項目】：食品、日用品、住居、光熱・水道、交通・通信、保険医療、教育、教養娯楽に係る1か月の支出額

【調査結果】

● 1名あたり消費額（最大）405,310円（最小）21,770円（平均）137,744円

● 消費品目

（金額は回答の合計を示す）



● 消費した地域

（単位：千円）

品目	朝倉市・東峰村	福岡県内	福岡県外
食品	2,550	675	141
日用品	299	210	191
住居	120	490	349
光熱・水道	21	123	47
交通・通信	587	409	618
保険医療	32	35	9
教育	0	0	0
教養娯楽	655	370	197
合計	4,264	2,312	1,552

※消費支出先のおよそ53%を朝倉市・東峰村が、およそ28%を福岡県内が占めている